



一般質問

松本 展国 議員

市長の政治姿勢について



【質問】 今年の施政方針には、ことをしつかり評価して佐渡の地域特性に見合った「小さな政府」づくりを進めるとあるが、これに比例して市の行政サービスが縮小してしまつては困るわけで、このところはどうか工夫して解決していくのか。

健康・保健・医療・福祉
行政への取組みについて

【市長】 行政コストを下げる同時に、行政のできないことについては現場を良く知っている人、あるいは行政のOBなどの協力のもと、市民の期待に応えられるだけのサービスを展開していきたい。

【質問】 市民との協働社会を構築するためには、その前提として市民の行政への強い参画意識の高揚が不可欠と考えるが、そのための具体的な手法はあるのか。

【市長】 市の持つ情報を開示していくことと、市民の皆さんからやっていただいた

両津・相川両市立病院の運営方法、島内の他の医療機関との連携の在り方等多くの問題を抱えているが、医療サービスをj受ける市民の皆様様に迷惑がかからないよう、医療計画をしつかり策定しなければならぬと考えている。

【質問】 多くの高齢者が施設入所を希望される中、市は国の示した在宅介護に力を入れていくというが、このようなことで市民に出来るだけの福祉行政を展開できるのか。

【市長】 多くの高齢者が施設入所を希望される中、市は国の示した在宅介護に力を入れていくというが、このようなことで市民に出来るだけの福祉行政を展開できるのか。

【質問】 医療体制の在り方を検討するため、「佐渡市地域医療計画策定委員会」を立ち上げることだが、市は医療行政の分野でどのような問題を抱え込んでいるのか。

【市長】 市の持つ情報を開示していくことと、市民の皆さんからやっていただいた



一般質問

肥田 利夫 議員

解決する勇気を



新保45号線道路
改良工事について

【質問】 用地測量業務委託契約書の存在を知っているか。また、契約金額はいくらか。

【市長】 全体の流れは報告を受けているが、金額は建設部長から説明させる。

【建設部長】 新保45号線だけでなく、7路線一括で677万2500円である。

【質問】 20回の公判のうち、何回報告を受けているか。

【市長】 正確には記憶していないが数回は受けている。

【質問】 現職員の中に当時の担当者がいると聞くが市長は氏名等を知っているか。

【市長】 現時点では承知していない。

【質問】 では事実関係をどこまで把握しているのか。

【市長】 ひとつの流れとして説明を受けている。

と言つが、確たる証拠になるものがあるか。

【建設部長】 確たるものはない
【質問】 地籍図の交付を求めたら、法務局のものと違うから出せないと言つた職員がいると聞くが知っているか。

【市長】 承知していない。
【質問】 聞いたとおり市長のところへは、全然報告がしてない。こんな状態で佐渡市が被告になつていつまで訴訟を続けるつもりか。解決する勇気を持っているか。

【市長】 勇気はあるが、硬直した状態であり、互いに早く終わらせる努力が必要だ。

代表監査委員 上司と部下であるから、打ち合わせをしながら仕事は進めていたかた。

【質問】 市長、監査委員の見解は聞いたとおり。さて、関係する箇所が訂正されているが、いつ誰が何の理由で、何のためにやつたのか説明願いたい。

【建設部長】 昭和38年の図根点の成果簿の中で訂正してある。昭和40年代に測量した後の訂正ではない。

【質問】 昭和38年に訂正したを還付するということとで了承願いたい。

佐和田地区の固定資産税の過課税問題

【市長】 6月定例会の答弁で「誠意をもって全体を明らかにし、適切な対応をしたい」という覚悟をしている」とあるが、全体像がどうなつたのか。適切な対処方法はどうか。また、見て分かりやすい形、基本的には時効は5年だが、10年分を還付するということとで了承願いたい。



一般質問

田中 文夫 議員

市政には地域の思いと力を集めて支える役割を



質問 来年度予算への指示は。

市長 既に部長には数回指示を出し、一部は佐渡地域振興局とも話し合ったところである。4年目は、国の政策が極端過ぎるところを修復、接ぎを当てるような細やかな配慮をしていきたい。また、これ以上地域力の低下を招かぬよう地域を支える仕組みを検討させている。

シンボルの保存について

質問 金北山のレーダードームは、戦後生まれの私にとつては馴染んだ景観となっている。新型レーダー配備となれば無用化し撤去となるかもしれない。金北山は古くから信仰や統治のシンボルである。これを敗戦、平和祈念のシンボルとして保存できないか。

市長 全く考えてもいなかったし、新型レーダーとの関係でも説明を受けていない。

質問 大型風力発電施設が撤去されると聞くが、エコアイランドを標榜し、トキとともに生きる環境基本条例を制定した本市にとつて、実用にならなくともモニュメントとして保存する価値があるのではないかと。環境に優しい島づくりという意味で、風車だけでも残すというのでも…。これは思いつきだが。

質問 小泉総理の靖国参拝が国際的な話題となっているが、それは全く別の問題として、戦没者遺族の減少によって護国神社の維持が困難となっている現状がある。祭政分離の原則はあれ、行政のここ入れが欲しい。

っている。放置して朽ちるに任せるわけにもいかないことも承知している。祭政分離のこともあり、宗教法人が普通の施設になれるのかも検討していない。

質問 旧女子高跡地に上級学校を誘致することのことだが、佐渡の女子教育の皆だつたところであり、正面の校舎だけでも残して、中央図書館を移転し、一角に紫苑の間（読書室兼記念品展示）を作つて欲しい。

市長 地域の思いのこもつた教育の場だったので、学舎が良かろうと思つた。提案については先方と話ししてみる。

質問 旧金井町は小学校の移転先として、県から4700万円で購入することになっていたのだが。

助役 県からは、当初予定と異なるなら、公共用地の減額はできないので、譲渡価格は高くなると言われている。

市長 病院や学校など新たな施設を誘致するときには、持ち出しも含めたそれなりの覚悟が必要と思つ。

質問 離島にとつて航路は、くではならないので、単に島民の生活の足であることに産業にとつても重要な役割を果たしている。不振の続く佐渡汽船の小木・直江津航路に関するあり方検討会の最終報告によると、航路の存続を図るため、平成19・20年の2年で県、佐渡市、上越市で4億円を支出することとなっているが、その使途は単なる赤字補てんになってはいけなないと考えるがどうか。

助役 資金の出し方については現在検討中である。

質問 計画が定まっているのに支出額が決まるのはいかなるものか。しっかりとした計画を立案すべきではないか。



一般質問

稲辺 茂樹 議員

自主自立の島づくり



質問 離島にとつて航路は、くではならないので、単に島民の生活の足であることに産業にとつても重要な役割を果たしている。不振の続く佐渡汽船の小木・直江津航路に関するあり方検討会の最終報告によると、航路の存続を図るため、平成19・20年の2年で県、佐渡市、上越市で4億円を支出することとなっているが、その使途は単なる赤字補てんになってはいけなと考えるがどうか。

市長 佐渡の経済の衰退は著しく、早急に産業再生の道筋を示す必要があるが、産業再生については、構造改革特区や地域再生など国の施策を取り入れて市民参画を図り取り組んでいく。現在、佐渡市地域再生研究会の立上げ準備をしている。

質問 計画が定まっているのに支出額が決まるのはいかなるものか。しっかりとした計画を立案すべきではないか。

市長 佐渡の経済の衰退は著しく、早急に産業再生の道筋を示す必要があるが、産業再生については、構造改革特区や地域再生など国の施策を取り入れて市民参画を図り取り組んでいく。現在、佐渡市地域再生研究会の立上げ準備をしている。

質問 少子化対策については、かなり調査研究が進み、効果的な施策が定まり、国と地域の役割分担が明確に示され、自治体は住民ニーズに応じたきめ細かいサービスを講じることが必要とされている。この度、学童保育の有料化は、極めて矛盾した行為と考えるが。

助役 いうとおりであり、3者で検討する。問題は、平成20年の秋にこの航路について一定の結論を出さないと。

光とするなら、日々失われつつある佐渡の美しい景観を再生保全するため、景観条例を制定してはどうか。

市長 来年度実施したい。景観条例はじめエコツーリズム、環境等については佐渡にとつて基幹的位置づけである。

質問 少子化対策については、かなり調査研究が進み、効果的な施策が定まり、国と地域の役割分担が明確に示され、自治体は住民ニーズに応じたきめ細かいサービスを講じることが必要とされている。この度、学童保育の有料化は、極めて矛盾した行為と考えるが。

質問 産業再生の基軸を観光とするなら、日々失われつつある佐渡の美しい景観を再生保全するため、景観条例を制定してはどうか。



一般質問

本問 千佳子 議員

景観に優れた島づくり



シーニック(景観)を楽しむバイウエイ(わき道)の取組み

〔質問〕平成18年度予算にシーニックバイウエイ計画策定事務委託料として、270万円を計上しているの



シーニックバイウエイ (富良野市)

佐渡の表玄関、加茂湖を有する「佐渡歴史街道東廻」を進めている。

竹・木材の利用は観光産業にぬくもり

北海道「大雪・富良野ルート」を視察した。ラベンダーの花やパッチワークの風景は訪れる人を優しく迎えてくれた。佐渡市の取組み状況とルートの名称、その運営方法を問う。

〔答〕「佐渡国しま海道」の名称で申請し、全国72地域の1つに選ばれている。主体となる運営はNPO市民グループであり、国・県と相談しながら支援をしたい。

〔建設部長〕 シーニックバイウエイの発祥はアメリカである。日本では北海道に3つの指定ルートがあるが、いずれも米国型である。「日本風景街道」に応募し、8月30日、「佐渡国しま海道」の設立に及んだ。「佐渡外海府金山街道」、小佐渡「さどなぎみち」、佐渡の中心を歴史景観資源で結ぶ「佐渡歴史街道西廻」、

新規に竹林整備と佐渡産材利用住宅建築奨励事業がスタートしている。林業振興は、観光産業に反映されるものと考えるが。

〔答〕竹林については、手入れがされないまま荒廃しているの、利活用の検証と景観の向上のため、集落3団体から委託契約を締結した。佐渡産材利用は、単独事業で、安い島外産に押され伐採や間伐が滞っているの補助事業を設けた。

〔産業観光部長〕 竹林整備事業は1地区10万円を補助し、早期効果実現のために期間を5月いっぱいとし、既に着手している。利活用では竹炭を作っているが、利用範囲を広げていきたい。佐渡産材は引き続き工務店などに働きかけ、景観意識の高揚とともに利用促進に努める。



一般質問

廣瀬 擁 議員

時代遅れの佐渡観光施策



〔質問〕市政に疑問を持つ職員意識について、どのように対処するのか。

〔答〕疑問を持つということは、ある意味結構なことである。それを吸い上げ、きつちり受け止めていくようにしたい。

〔質問〕「いいイベント」について根本的に市長と私の視点は大きく違う。行政職員が企画立案し、行政内に事務局を持ち、補助金申請を職員が作成し、補正予算も自由自在、職員の時間外手当も別途支給のイベント事業。それより地域が本気で頑張っているイベントこそ応援すべきである。

〔質問〕平成19年度の観光イベントの目玉は何か。

〔答〕地域の振興は商工会が中心にやるのが望ましい。商工会主体で実施しても、負担額や補助金が先細りしていく現状だが、これから補助率を統一していく過程であるので、しばらく見守っていたきたい。

〔質問〕平成19年度の観光イベントの目玉は何か。

〔答〕地域の振興は商工会が中心にやるのが望ましい。商工会主体で実施しても、負担額や補助金が先細りしていく現状だが、これから補助率を統一していく過程であるので、しばらく見守っていたきたい。

行政内にある事業の来年度以降の事務局の所在、事務局を移行する場合の商工会の役割は、是正のためのイベント補助率について。

各地で立ち上がっている未熟な「いいイベント」もたくさんあるので、応援していきたい。

〔産業観光部長〕 事務局については受け皿を整備し、来年度に向けて関係者と打ち合わせをしている最中である。



最も自立しているイベント「よさこいおけさ」